

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	コーティング3号機建物	階数	地上2階
建設地	京都府亀岡市余部町新堂10番地	構造	S造
用途地域	工業地域、防火指定なし	平均居住人員	26 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	270 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2012年1月 予定	評価の実施日	2012年1月31日
敷地面積	40,417 m ²	作成者	稲葉
建築面積	1,851 m ²	確認日	2012年2月1日
延床面積	2,795 m ²	確認者	稲葉

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項

総合	その他
建物形状は、単純な形状としメンテナンス等を考慮した建築とした。	なし
Q1 室内環境 事務室許容騒音値は、45dBとした。	Q3 室外環境(敷地内) 建物高さは、必要最小限として外周空地も確保した。
LR1 エネルギー 外壁・事務室の天井裏などの断熱性能を確保。	LR3 敷地外環境 廃棄物分別施設の設置
Q2 サービス性能 居室 作業室などの、天井高さを十分にとり作業環境に配慮した。	
LR2 資源・マテリアル 再生可能建築資材の使用、F☆☆☆☆材の使用。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される